

中今の八ム山第11弾弾！！

“愛の星”地球

命の響き

地球は、根源の神の心、美しい魂の調べ

“愛”から全てが生まれ

その共鳴、響き愛によって

新しい世界が形創られていく—

NMC のひな形、根源の愛の星“地球”

5月のKTセミナーにてT先生より

小さな丸いクリスタルと、素敵なお歌をプレゼントしていただきました

愛と夢がいっぱいにつまった“中今”という奇蹟の時の音が

胸中に響きわたり、とても感動的でした(*^^*)

地球は今、最終ステージ！ たくさんの経験から得た尊い学び、

魂の神化(進化)を経て、本来の姿へと帰る時——

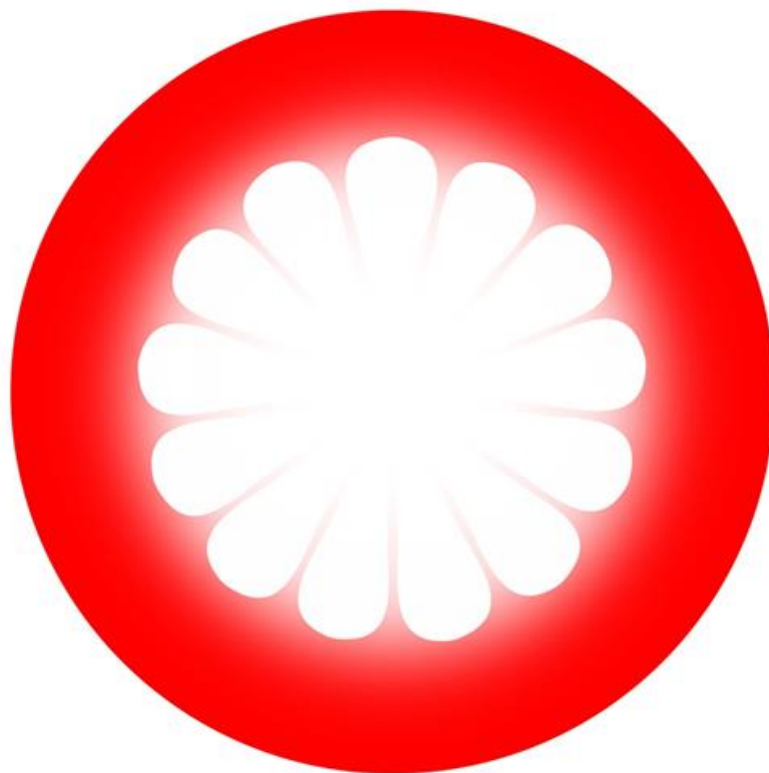
小さなクリスタルは、最小単位の“ロゴスグリッド?!”マシンであり

T(地球・宇宙神)と繋がったお守りでもある、とお伝えいただき、私が思い描いていた

“愛の星地球”のイメージが、そこにピッタリと重なりました！(*^^*)

根源母(K、Ai先生)を囲むメンバー全員で積み重ねてきた

学びとエネルギーワーク、“根源の愛の思い”の集大成！と感じます



根源の愛の象徴“根源エンブレム”から生まれる、∞の個性の輝き

美しく愛しい“命の響き”

NMCのひな形“地球”のブループリントです

セミナー後1週間以内に、一人ひとりにとって
必要なメッセージを、「夢で贈る！」との、T先生の御言葉…

“ただ、核心(愛の叫び)であり続けよ！！！”

と、私の内面(同時に全宇宙のようでもある)で鳴り続ける
地響きのような思いとともに目覚めた朝が、地上セルフの覚醒？

地球神よりの、大切なメッセージ！と感じました

根源の究極の愛の子供“ハム”であり続けることです



根源の愛は、全てをつなぎ、すべてを生かす

“宇宙最大の力、唯一の法”

7月に関東で開催されたアカデミー公式セミナーに合わせるように、

箱根方面へと出かけました

きっかけは、故郷の村史に記されていた昔話

「泰澄大師が白山頂上で、最初に出会ったのは、12の角をもつ龍

それは、後に白山比咩神社に祀られた」とあります

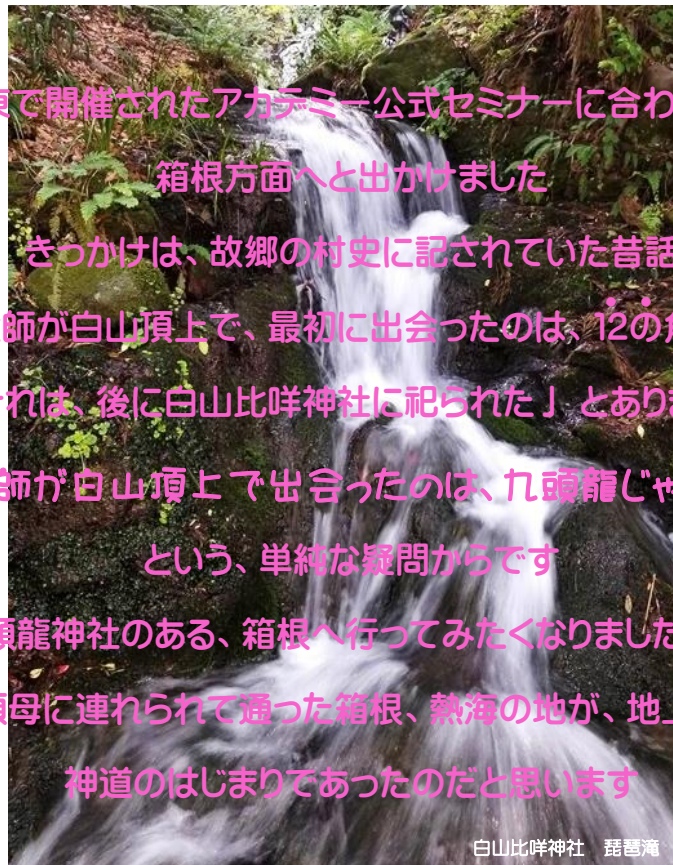
“泰澄大師が白山頂上で出会ったのは、九頭龍じゃないの？”

という、単純な疑問からです

九頭龍神社のある、箱根へ行ってみたいとなりました(^^) /

小さい頃母に連れられて通った箱根、熱海の地が、地上セルフの

神道のはじまりであったのだと思います



白山比咩神社 琵琶滝

箱根神社

2016.7.16

御祭神 箱根大神

瓊瓊杵尊

木花咲耶姫命

彦火火出見尊



箱根大神の御神力は、大自然の中に息づいている——
樹齢 1200 年という、この矢立杉に、しばらく見とれていました

永い歴史の中を、無言で生きてきたもの…

“武士道”や“大和魂”の、力強さ、美しさを、常に見守り、支えてきた
自然界(神々)の、大きな愛の力を感じます



老杉にかこまれた、とても神聖な参道を上ると、本殿が見えてきました
何だか、龍宮城のようです(*^^*)

箱根神社御祭神“瓊瓊杵尊”と“木花咲耶姫命”の間に生まれた
“彦火火出見尊”は、“龍宮城”へと導かれた“山幸彦”の事で
そこで出会った“豊玉姫”との間に生まれたのが

“鵜草葺不合命”であり、初代“神武天皇”の父といわれています
“龍宮城”や“龍”は、おとぎ話ではなく、とても古い、私達の歴史の一部分
泰澄大師の誓願に於いて、白山頂上に、一番最初に現れたのも“龍”です！

私にとって“龍”は、偉大なる守護神のイメージでしたが

すべてが統合され、一なる源へと帰っていく

“根源へのアセンション！！”の中今

勢いよく天へと昇る龍の姿は、

力強いアセンションの上昇エネルギーそのもの！！

今、日の本の龍、全てが統合され、一なる、真なる、“黄金龍体”となり

地上のあらゆる全てを連れて、根源へと舞い上がる！！

それが、“根源へのアセンション”であり“地球維神”でもあるのだと思います

“12の角をもつ龍”が見えてきた感じがします！

再び“龍”が、大活躍する時代となったのかもしれない^^

本殿で感謝と希望の祈りを捧げ、九頭龍神社新宮へと向かうと



9つの龍が並ぶ龍神水が見えてきました！

なんて可愛い〜〜！！

よく見ると、いかつい面々(笑)ですが
私には、キラキラと輝く光の玉から生まれた
根源の愛の子供“ハム”！に見えました

こんな感じ。。。^o^



おかえり〜！というか、なんだかとても幸せな気分です

(*^^*)

箱根神社を後にして、駒ヶ岳山頂、箱根神社元宮へと向かいました

梅雨明け前の曇り空、ロープウェイ昇降口にて

「山頂は、何も見えません」と教えていただいたのですが

まさか、これほどとは…、一面真っ白で、右も左もわかりません(^^;

十数人の同乗者の中に、何となくT先生に似ている。。。と

気になっていた御夫婦がいらっしゃり、お母さんの胸には赤ちゃん？でしょうか

今から思うと、それ以上見てはいけない？

その光景には、半分モヤがかかっていたような…？気がします

ほとんどの方が、別の方向へと歩いていくのを見ながら

私はその御夫婦の後を、知ってる顔(笑)でついていきました^^

何故か、声かけられない雰囲気です

もっどちゃんと調べておけば。。。(◎_◎;)、はぐれたら遭難するかも。。。(+o+)

ごちゃごちゃ思いながら進んでいくと、

行く手に微かに鳥居のようなものが目に入り、ほっ！と思いきや

その手前で、「お先にどうぞ！」とばかりに、男性が立ち止まってしまいました

アラッ(..)



勝手に連いてきた申し訳な事で、先に進むことを躊躇していましたが

私がそこに一緒にいても、変な人(笑)なので、思いついて鳥居をぐりました！

目の前に社殿が見えて、今度こそその安堵(^)v



参拝後に撮った写真に、男性の姿がみえます

なぜだか、すごい！光景と思います

あの御夫婦に出会わなければ、絶対にたどり着くことは出来なかった！
偶然は存在しない、と言われることが、だんだんわかる気がするこの頃です^^

この霞のなかを、私達と入れ替わりに
大勢の外国の方が、駒ヶ岳山頂へと上ってきた事が、とても不思議でした
なんとなく、イザナギ・イザナミの両神(親)に連れられて上ってきた

“子供の私？”

そんなイメージが浮かびます(*^^*)

箱根神社元宮の御祭神は、造化三神

まさに、まだ何も無い、はじまりの時を感じる、神秘的で神聖な参拝でした

そして、素敵な発見がありました！！

箱根元宮は、さらに箱根最高峰である“神山”を“御神体”としている事です！

ずっと以前、何度か白山に登った勢いで、訪れた事があります
インドア派の私が山登りにチャレンジしたのは、“白山”と“神山”だけです

その時は気にならなかったのですが、頂上には

“天照主大御神”が祀られていました

山頂は木々に覆われていて視界が悪く、見晴らしのよい場所へと移動して

一休みしていると、霞で辺りは何もみえない…、と思っていた目の前に

山が、こんもりと浮かび上がってきたので、目を疑いました

思わず、「こんにちは！」と言ったのを思い出しました

あれは、駒ヶ岳？ 今日の日、約束をしたのかもしれませんが？

(*^^*)

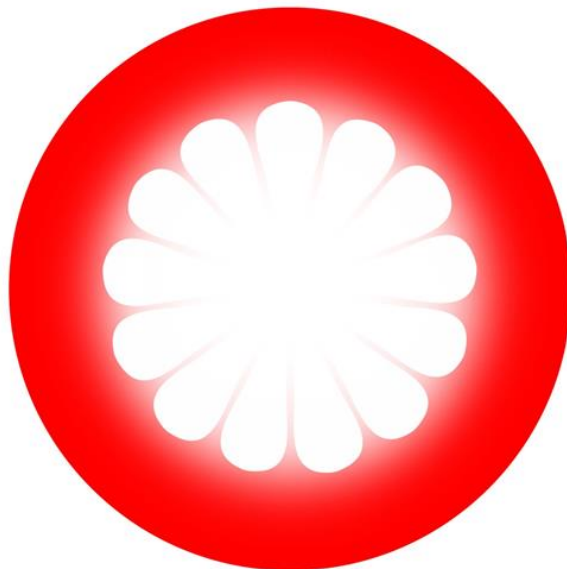
天照神のお名前には、あまり見たことのない“主”の文字

私が“主の神”として探し続けてきた

“根源天照皇太神”のような気がします！^^

すべての統合に向けて、この時が来るのを、

山の奥でひっそりと、待っていたのではないのでしょうか！！



“主”は 聖書の中で、神をあらわす言葉

“瓊瓊杵尊”と関連があると言われる、イスラエルの民もここにあり、

一なる根源へと、向かいはじめているかもしれません^^

芦ノ湖湖畔にある、**九頭龍神社**でご挨拶をし
ハム龍さん?と共に、湖の周りを、歩きました(^)/
喜びのパワー全開で、勢いよく上昇する龍のエネルギーが
私の、“愛の意志の第一光線”そのものとなり
“ハート”は、巨大な太陽となりました

遊覧船に乗りながら、芦ノ湖が“**根源の太陽**”になっている、と感じました



翌17日は、箱根を出て、“**富士山本宮浅間大社**”へと向かいました

途中にあった“三嶋大社”に行ってみました

御祭神は、“大山祇命”

浅間大社御祭神“木花咲耶姫命”の父神であり、
源氏旗揚げの地でもあるとしり、くるべきところに来たのだと思いました！

豪華な衣装をまとい、幸せそうに歩く新婦の姿が、目に映ります

“木花咲耶姫命”を見守る“大山祇命”の親心？

優しさと貫禄に溢れた、スケールの大きな、立派な神社と感じました！

携帯メールランプが点滅したので、確認すると

毎日のように送られてくる、不安と悲しみに満ちた情報、出来事…

この日の本の、偉大なる神々と

人の真心をもって、不可能などあろうか！！

という気持ちが爆発して

「私がすべての神々のポータルとなって、世界を変えます！！」

旗揚げならぬ、言挙げとなりました

地底から噴き出すマグマのような、愛の意志のエネルギーを感じ

身の引き締まる思いで、三嶋大社を後にしました

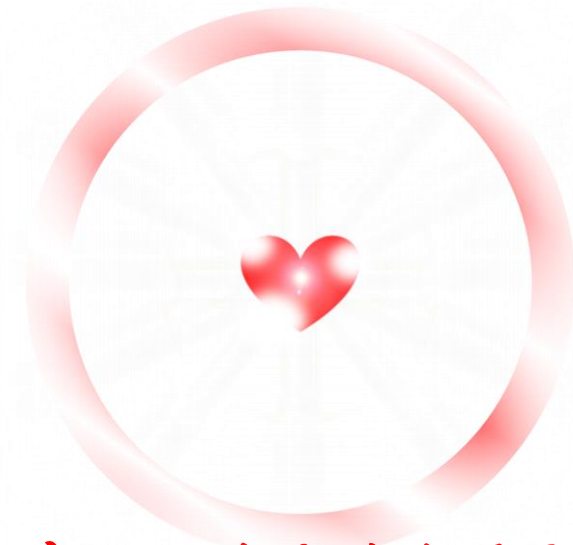
三嶋駅で電車を待っていると、二羽の“ハト”がやってきて、

私の足の周りをクルクル回って、飛び去りました？

想定外のパフォーマンスに、豆鉄砲をくらったヒト(笑)となっていると

もう一度同じ事が起こり、

私の中心から、ほのぼのとした、あたたかい思いが溢れてきました
二羽が前後に連なって、回って歩く姿が、なんともかわいくて、愛おしくて
自身の中心から∞に溢れ、広がっていく“愛の世界”
“ハートのマルテン”が生まれたような気がしました^^
ハトは、八幡神の使い、また、精霊の象徴ともいわれるので
激励のメッセージ！かもしれません^^



富士山本宮浅間大社

御祭神 木花咲耶姫命





はじめての、富士山本宮浅間大社！

強烈な女神のパワーを放つ神社に出会った！！

全細胞が沸き踊るかのよう、身震いを感じました

やっとここまで来た…という、深い、切ない思いが込み上げてきます



地下から、地上へ！ “陰と陽” “裏と表”

“白山”と“富士山”を隔っていた全てが、消えてなくなり

“地球維神”の歌が、聞こえてくるようです！



天然記念物“湧玉池”の、美しい水に心洗われ

“コノハナサクヤヒメ”の“火”＝縦軸の働きと

“セオリツヒメ”の“水”＝横軸の働きを

地上セルフの核心“根源天照皇太神”にくる“菊理媛”となり

幸運の女神のパワー炸裂！アクエリアス新時代！！

NMCのひな形“愛の星地球創生！！”を、誓いました！！！！



2016. 7. 31 日本三景の一つ、天の橋立を参道とする

元伊勢籠神社へ行ってきました

美しい～！天と地を結ぶ“光の架け橋”のようです^^



このところずっと気になっていたので、その時が今！と思いました

沢山の人が訪れる、噂のパワースポットとの事ですが

とても大切な何かが、静かに待っているような気がしていました

“籠”とは、“龍”の文字の上に“竹”冠

今回が“龍シリーズ”の、トリ？でしょうか(笑)

冠が取り除かれ、

“龍”が“鳳凰”となって飛び立つイメージがわいてきます！

私がそこに行く意味はなんだろう？と考えていて、浮かんできたメッセージが

「私でなければならぬ。私にしか出来ない事がある。」というものでした

全く意味不明？ですが、ワクワク^^

根拠のない自信に満ちて、出発することにしました

「はしだて号」に乗るのが、何だか、すごく嬉しい～～！

京都駅で、天の橋立行きの列車に乗る時から

しばらく忘れていた、遠足に出かける子供の気分です！
“鉄道”はエネルギーの流れ、“龍道”でもあるのかもしれませんが^^
橋立駅に到着！青い空に、静止した時の流れを感じました
夏真っ盛り、海水浴客で一杯の参道を進んでいくと
晴天の中、ぽつぽつと雨が降ってきて、龍神さんのお出迎え？
懐かしく、温かい思いに、心が満たされていきました(*^^*)

籠神社に到着です



第一の鳥居

何故か「下乗」の文字に意識が向き、上空にある巨大なエネルギーが、
自己の中心に集約されてくるような感じがします



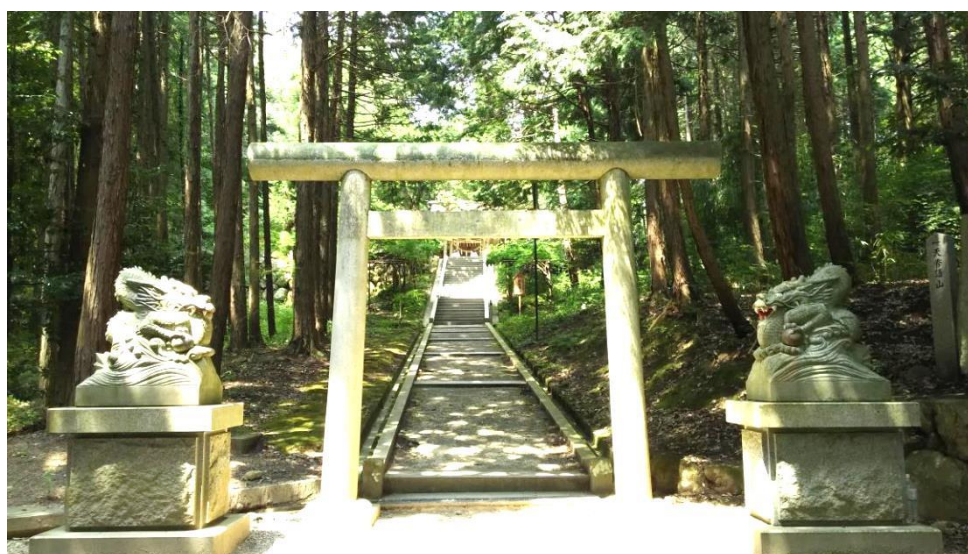
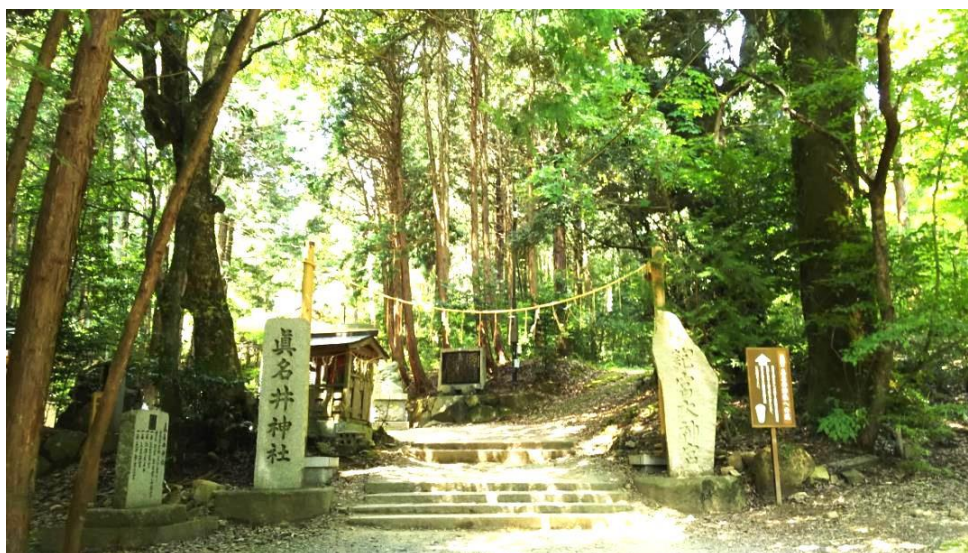
籠神社境内は撮影禁止となっていて、鳥居の写真しかありません(^^;

主祭神は、“彦火明命”

相殿は、“豊受大神”“天照大神”“海神”“天水分神”

“伊勢神宮”と“籠神社”にしか許されていないという、
五色(青・黄・赤・白・黒)の座玉があり、気品高く、荘厳な雰囲気
見たい以上の、空間の広がりを感じる社殿でした
祝詞をあげながら、心がゆったりと、安らいでいくのを感じました

次に奥宮の、真名井神社へと向かいました



“真名井”とは、高天原で神々が使われる、“天の真名井の水”との事

まさに、クリスタル、ピュアピュア～！

美しい天上の光の水から、すべてが生まれている！と感じます

両脇にある狛犬、ではなく“狛龍”さんが、素敵^^

“龍”が護る“真澄の玉”の中へと、吸い込まれていくような、ピカピカの鳥居は

新しい夢の世界への、旅立ちの門？！

お邪魔します(^^)／

御祭神は、

“豊受大神”を主祭神として

“天照大神”“伊射奈岐大神”“伊射奈美大神”

“罔象女命”“彦火火出見尊”“神代五代神”

本殿の向こう側には“磐座”があり、そこはもう神々の世界？

神社とは呼べない場所のような気がします

私には、天に続く光の道が、はっきりと見えました！^^

だけど、なんだか力が入らない。。。

今一つ、納得のいかない参拝となってしまいました

一旦籠神社まで引き返しなから、その理由を考えていました

真剣さが足りない！本当の私ではなかった！

私は、根源の究極の愛の子供、ハム！

それは

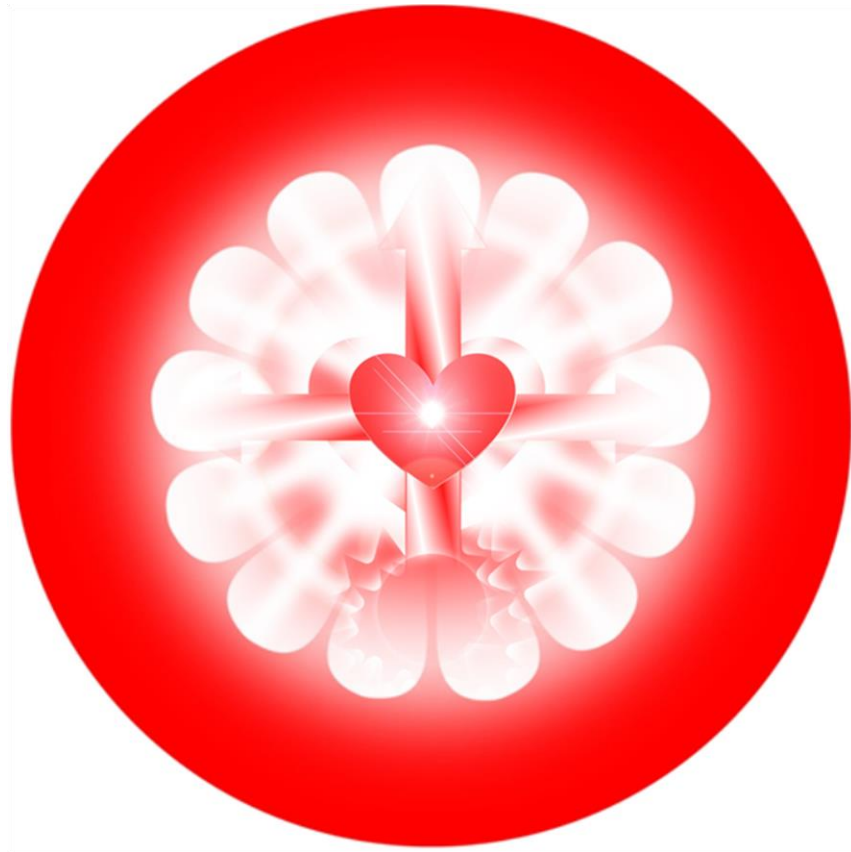
根源母神の御子であり、巫女！！

水分補給の小休憩をとり、再度、真名井神社へと向かいました

磐座の前で

紅白の衣装(根源エンブレム)をまとい

“根源の舞日女”となって、愛の星地球創生!の祈りを捧げました



自己の核心から、∞の愛が溢れ出し、時空を震わせ

一面が“根源の愛の海”となっていくのを感じて、涙がこぼれました

その場所にあった、天に願いが届くという鈴の音を、

高らからに、響きわたらせました!

その時、「あれっ、雨!」という誰かの声がして、我にかえり

願いは聞き届けられた——と感じました

とても繊細で、あたたかい、慈しみの涙が、大地を浄化していくようでした

最後に籠神社にて、御祈禱を受けさせていただきました

もう、中途半端はありません！！

後日、自宅で母と話をしていると、何故か、
数日前に、突然雨が降り出した時の事を話しました
丁度約束があつて、時計を確認した後だったので、はっきり覚えているとか？

今なんでその話？と思い、詳しく聞いてみると、

まさに、籠神社正式参拝の時！

晴天の中、まさかの瞬間豪雨に見舞われて、大慌てだったそうです

“龍”は“鳳凰”となって飛び立った！

洗濯物が台無しになったのは、私のせいではありません(笑)

人と自然は一体です (*^^*)



2016.7 善美 rumines